

CONTENTS

第7章 神話を愛する人のためにⅥ 003

第8章 神話を愛する人のためにⅦ 029

第9章 神話を愛する人のためにⅧ 053

第10章 神話を愛する人のためにⅨ 073

第11章 私を試す、うまれと誉れⅠ 097

第12章 私を試す、うまれと誉れⅡ 117

第13章 私を試す、うまれと誉れⅢ 137

作画 **肋兵器**
ABARAHBIKI

原作 **入江君人** キャラクター原案 **茨乃**
KIMIHITO IRIE SHIRO

DRAGON COMICS AGE

あ-6

1-2



DRAGON
COMICS
AGE

さまの
KAMISAMANO
INAI
NICHYOUJI

神
さまのいない
KAMISAMANO INAI
NICHYOUJI

日曜日
NICHYOUJI

II

II

II

II

II

II

II

II

II

II

II

II

II

II



9784047127791

ISBN978-4-04-712779-1

C0979 ¥580E

定価：本体580円(税別)

発行：富士見書房
発売：角川グループパブリッシング



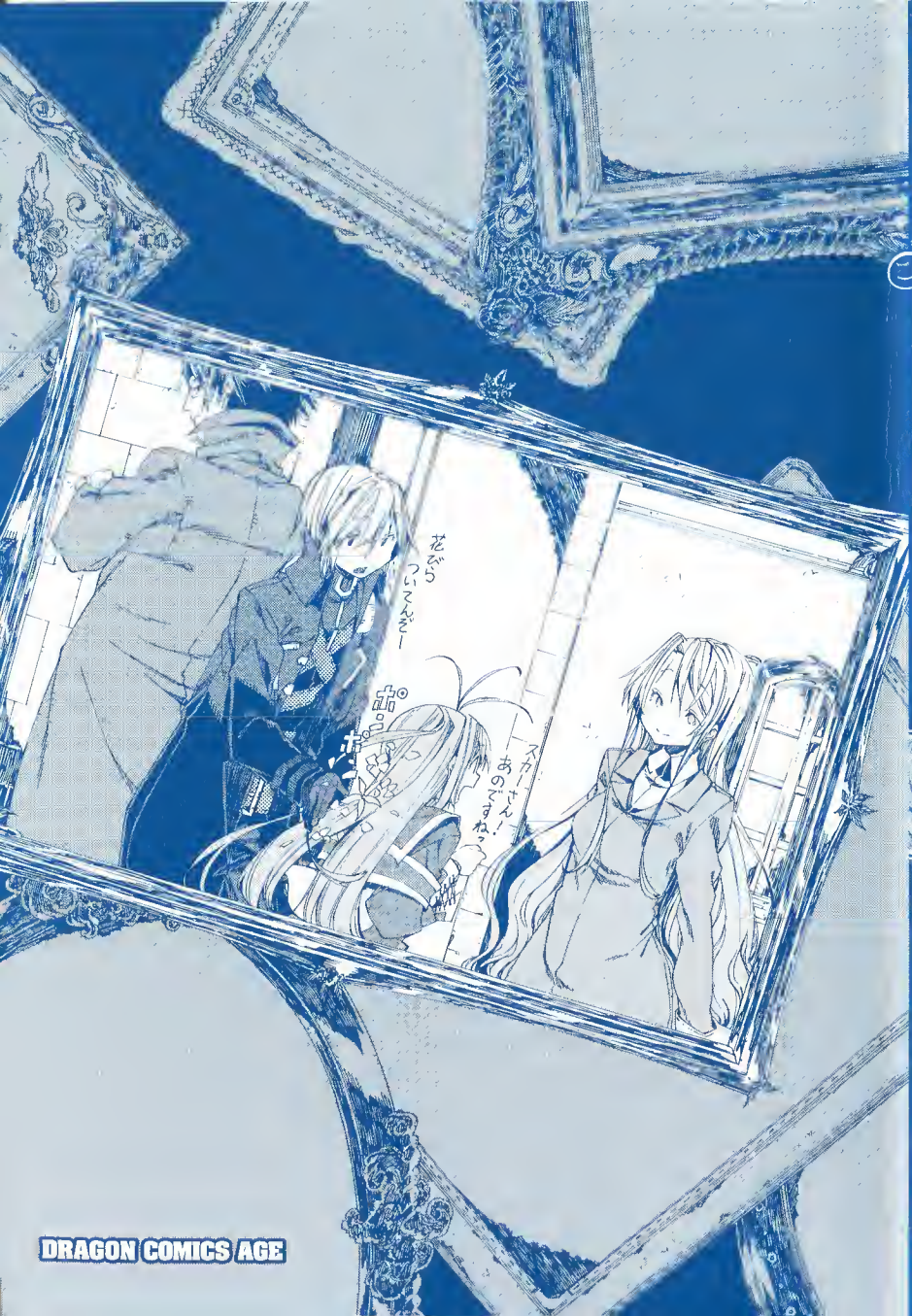
1920979005808

12歳にして墓守をつとめるアイが住んでいる村の住人が
“ハンブニーハンバート”と名乗る少年により殺された。
悲しみに暮れるアイ。そんな彼女にハンブニーハンバートは
銃口を向け、死ねと告げるが――!?

作画 **肋兵器**

原作 **入江君人**
キャラクター原案 **茨乃**
富士見書房

KAMISAMANO
INAI
NICHYOUJI



DRAGON COMICS AGE

あ-6
1-2

DRAGON
COMICS
AGE

神さまのいない日曜日 II



作画：助兵器
原作：入江君人
キャラクター原案：茨乃
富士見書房

神さまのいない日曜日 II
KAMISAMANO INAI NICHIOUBI



神さまのいない日曜日

KAMISAMANO INAI NICHIYŌU

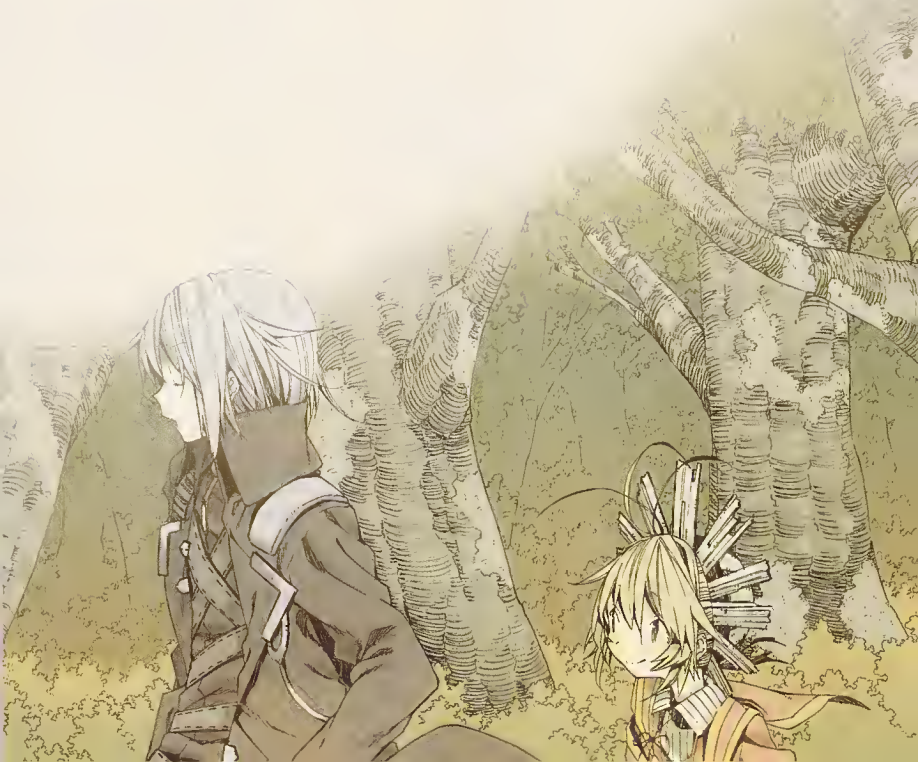


KAMISAMANO INAI NICHIIYOUBI

COMIC ABARAHEKI

ORIGINAL: KIMIHIITO IRIE

CHARACTER DESIGN: SHINO







スカー
傷持ち

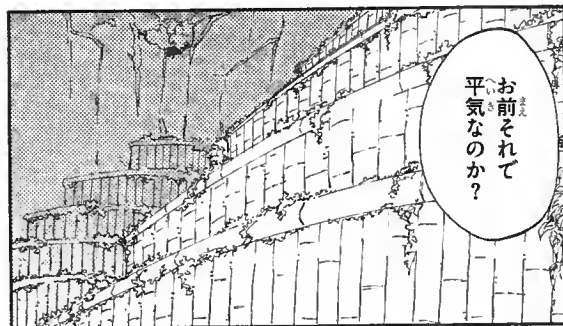
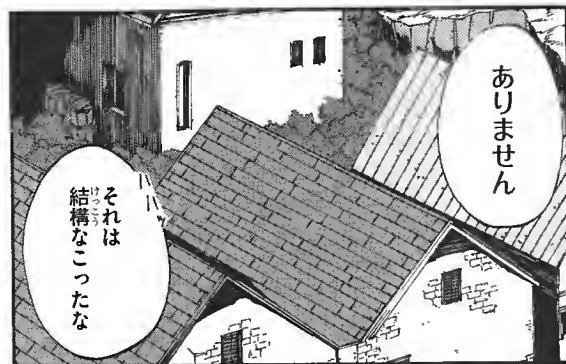
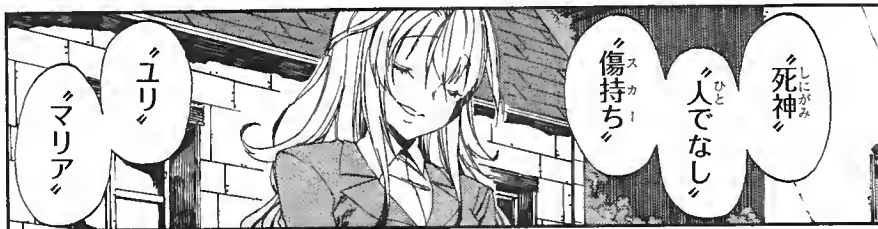
その前は
まへ
なんと
呼ばれていた？



ひとごろ
人殺しです



きかのほ
どんどん
逝ってくれ





私とこれは……

……
ちが
違う

あんな呼ばれ方
私がされたら……

わたしに名が
無かつたら……
……私は……

わたしこれ
私は墓守とは

……ちが
違う……



……
どうか
しましたか？

あ、
気にすんな
ちょっと
アイデンティティが
崩壊してるだけだ

さて……
お前の事は
マリアでいいか？

どうせその
傷持ち^{スカー}つてのも
悪口^{わるぐち}だら

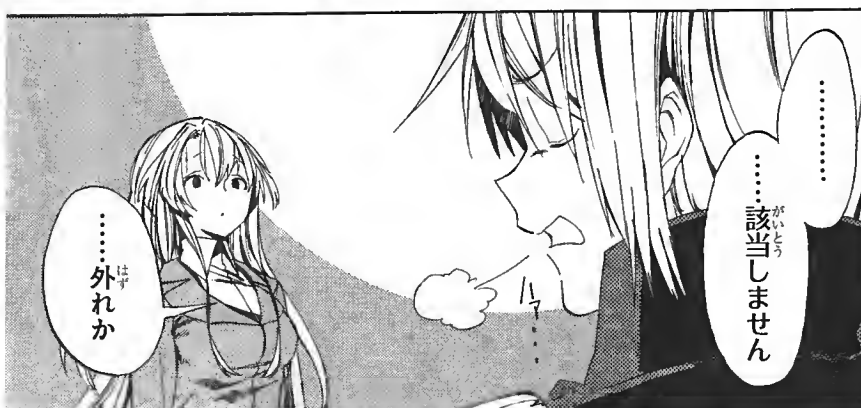
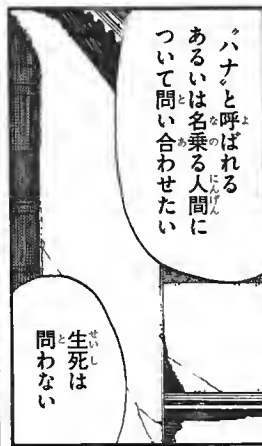
いえっ

私の事はぜひ
傷持ちと呼んで
下さい

まさか断られる
とはな……

お前もなかなか
壊れた奴だな^{こわ}





俺からの
用件は以上だ
引き留めて
悪かったな

いいえ

生者が良き人生を
送られるよう
お助けするのも
私どもの
責務ですので



よんじゅうななにんぶん
四十七人分
埋めてある

まいそう
埋葬して
やってくれ

…あっちに



言^いったろ
人^{ひと}を殺^{ころ}せるのは
墓^{はか}守^{もり}だけだつて

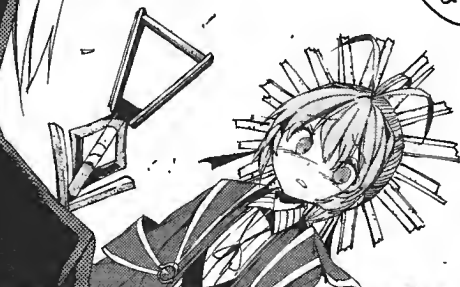


埋^{まい}葬^{そう}ならざつぎ
……




心^{しん}臓^{ぞう}が止^とまっても
脳^{のう}味^み嚙^そが
垂^たれ流^{なが}れても
死^しにやしない

連^{れん}中^{ちゆう}はまだ
死^しんでないんだよ



だからといって
生^いきてるか
うと
それ^{ちが}も違^{ちが}う



死んでないし
生きてないし
それが死者共だ

こいつらの
でばん
出番だ

…ぐうて

墓守が
シヨベルで土をかけて
初めて死者は
死ねるんだよ

俺らが
灰にして埋めても
それは動けなく
したっただけさ

こいつらは
駐在か循環の
二種類の状態を
渡り歩くんだ


前者は一つのところに
止まって
死者を管理する

後者は死者を
追い求めて
どこまでも行く


こいつの場合は
循環員だろ

墓守って連中は
鼻がきくからな…
こんな場所でも
死者の気配を
感じればすぐ…


………



死者^{ししや}などいませんよ



あなたが
指し示^{さししめ}した方向に
死者^{ししや}の気配^{きはい}を
感じません



すまん…
なんだって？

そこは
遠いのですかっ

馬鹿な

せいぜい一山
越えた辺りだ
わかんねえのか？

埋葬された方たち
なら確かに五十人ばかり
おりますが
それ以外はなにも…

奇妙な反応も
一つありますが
無視できるものです

私は確かに
循環員ですが
目的は
別にあります

ここには
単純に通じなかった
だけです

つまり



お前まえそういうの
わかんねえの？

私わたしに人ひとと
墓守はかもりを見分ける
機能きこうはありません

人ひとに犬いぬと狼おおかみを
見分ける機能きこうが
ないように

墓守語はかもりごはやめろ
……つまり
「見れば分かる」
って事ことか？

彼女かのじょは墓守はかもり
ですよ
見れば分かります

だったら
そう言え…
ムシヤヘム…

聞ききましたか
お父様おとうさま！



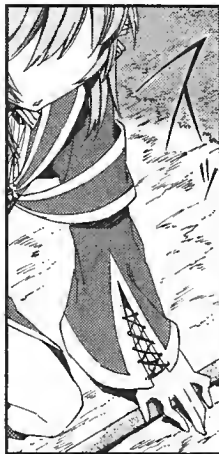
なんですか?
散々自信たっぷり
否定しておいて!



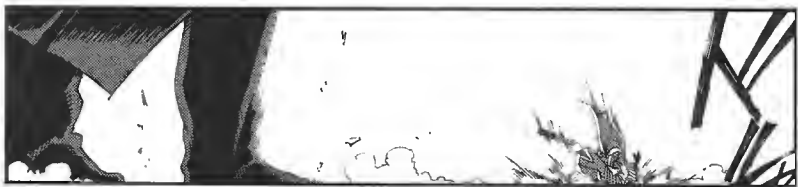
















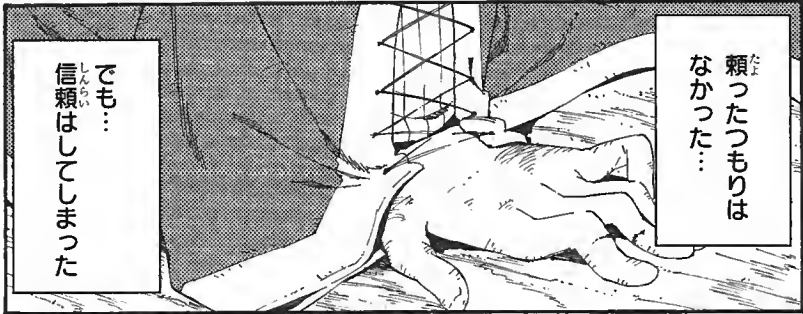
まへ はかり
お前が墓守
だったのも
この村の事も
大体全部わかつた



しん 信じがたい事
だが
おそろくお前は
墓守と人間の
ハーフだ




こわ 壊れた墓守が
う 産んだ子だ

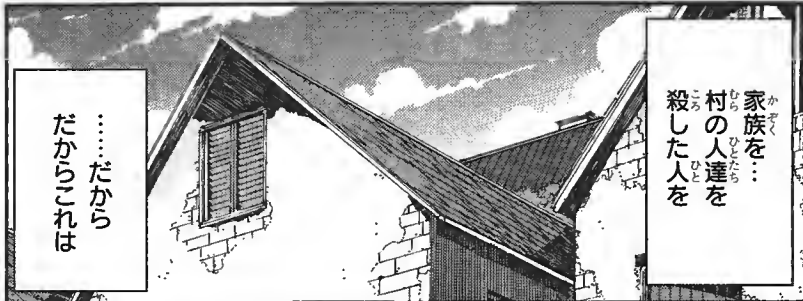


頼たのったつもりは
なかった…

でも…
信頼しんらいは
してしまっ
た




家族かぞくを…
村むらの人達ひとたちを
殺ころした人ひとを



……だから
だからこれは

当然とうぜんの
報むくいなのかも
しれない…





信じがたい事だが
おそろくお前は
墓守と人間の
ハーフだ



壊れた墓守が
産んだ子だ




全部忘れろ


この村での事も
墓守だって事も



全部だ



だがそれも
どうでもいい



さもないや
お前は人の中で
生きていく事が
出来ない

.....



お前^{まえ}変^{へん}だよ
ありえねえよ

一個^{いっこ}も整^{ととの}った
ところがない

俺^{おれ}も大概^{たいがい}だが
…それ以上だ



そんなナリで
お前^{まえ}…
外^{ぐわい}に出てみる

たちまち
なぶり殺^{ころ}しに
あうぞ



お前^{まえ}
自分^{じぶん}が人^{ひと}でも
墓^{はもと}守^もでもない
怪物^{かいぶつ}だって


氣^き付^づいて
ねえだろ？




暴力^{こたあつ}は
どこにても
ある

悪い事^{わるいこと}は
言^いわねえ
全部^{ぜんぶ}忘^{わす}れろ





ぜんぶわす
全部忘れて
しあわせになれ
幸せになれ



よわ
弱い
もの
化け物なんて



お前は
弱い…



あつ
哀れな
だけだぜ



!!



さ
せ
ま
せ
ん
…
!!

こ
れ
は
…
…

だ
い
じ
大
事
な
…
っ

だ
い
じ
大
事
な
!

わたし
…私の!

だいじ
…大事な!

そんなもの
……ただの
シヨベルだ

そんなものに
守られなければ
自分すら
保てないのか?

お前は墓守じゃない
人だ
全部忘れて
生きていけ

じゃあ
どうすんだ!!

わ
分かりません!!



わす
忘れるなんて…

てもっ

わ
分かりません
けど！

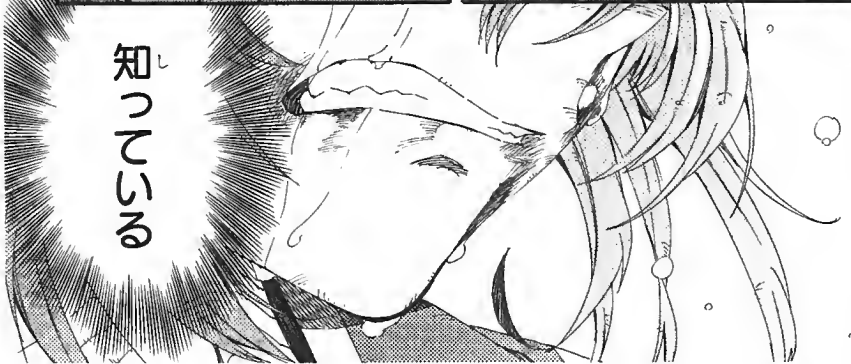
…でもっ！！

.....
ごめせん





知っている





すべて
わす
れて
死んだ
ふりして
生きて
いく事
は…



わす
れる
わけ

な
い
で
す



で
き
ま
せ
ん

出
来
ま
せ
ん



.....



もう手出ししない
つつつてんだよ

生き方
変えられない奴は
大変だが

まあ頑張れ



薬塗ってやるから
ついてこいよ

は？

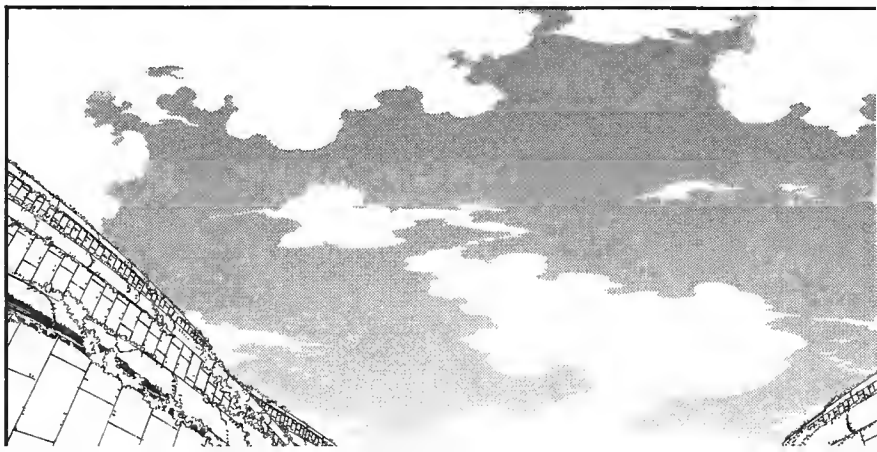


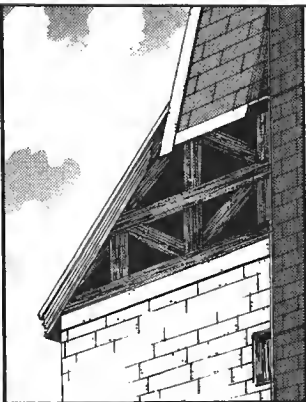
工房に
救急箱が
あったな



.....
あなたは
何がしたかったの
ですか？

さあ？







墓^{はか}守^{もり}として

ここで死^しぬ
つてのはどうだ？



暴力^{ばうりき}・強欲^{きやうよく}・殺戮^{ころりく}
墮落^{だらく}・敗北^{はいぺく}・挫折^{さつせつ}
不義^{ふぎ}・腐敗^{ふはい}
そんなものは
どこにでもある

お前^{まえ}が野望^{やぼう}に
生きる限^{かぎ}り
お前^{まえ}はそれに犯^{おか}される



十五年^{じゅうごねんまえ}前なら……
こんな世^よの中^{なか}になる
前^{まえ}ならまだしも

すでに終わ^おって
しまった人間^{にんげん}社会^{かい}は
けっしてお前^{まへ}を
認めない

お前^{まへ}はそれを
ぶん殴^{ぶちう}って蹴^けっ飛ば^として
自分^{みづかみ}を認めさせ
なければならぬ

絶望^{ぜつぼう}的な
仕事^{しごと}だ

お前^{まへ}が死ぬ^しまで
お前^{まへ}でいられる
確率^{かくりつ}は恐ろしく
低い

今^{いま}のお前^{まへ}にある
どうしようもない輝^{きら}きは
研磨^{けんぎ}されてより一層^{いっそう}
輝^{きら}くかもしれない

だが
その何千倍^{なんせんばい}もの確率^{かくりつ}で
汚^がされる

それも
最低^{さいてい}最悪^{さいあく}の
手段^{しゅん}でた

だからよ……



お前^{まへ}こゝで

綺麗^{きれい}に
終わ^おわつとけば？



輝^{かがや}くまま

死^しね

.....



冗談^{じやうだん}.....

……すよね



…そうか

この人のした
事は…

嘘ですよ

私を助ける為の
事だったんだ…

人として生きる
幸せを与え

それを邪魔する
墓守を否定する

そのための暴力…

嘘ですよ？
冗談ですよ？

…お父様

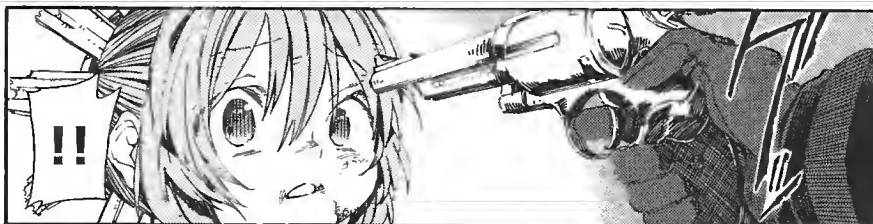
そのための…

だって…
今まで話を
してたんですよ？

殺せませんよね？



あなたは私を
助けようと
してくれましたもの




お父様……ッ

娘を



……
殺せるんですか
殺せちゃうんですか？

今まで話してた人を
助けようとした人を



殺^{ころ}せる




しにたくないです!!

そんな理由^{りゆう}じゃ
生^なかしておけない



だめだ



生存^{せいぞん}欲^{よく}求^{もと}めには
二^に種^{しゅ}類^{るい}ある

一つは
死^しにたくない

もう一つは



嫌^{きら}いです

しにたくない



生きていたいだけ

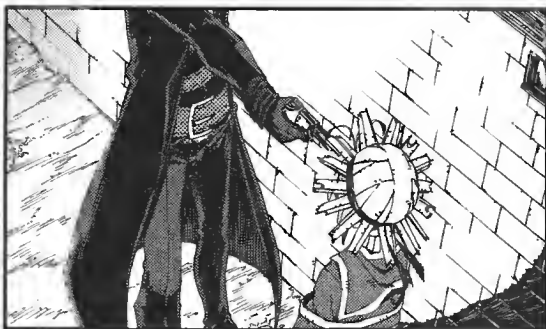


お前を生かす
ただ一つの言葉は
生きていたいだけ



その二つの間には
天と地ほどの
開きがある

死にたくないで
生きていけるほど
お前の道は優しくない



生きたいのじゃないか
私は……

すべてを無くして
信頼した相手からは
銃を向けられて

……ごんな

ごんな思いを
してまで……私







第9章 神話を愛する人のためにⅧ



このままじゃ……
誰か……



誰か……ッ







だいじょうぶ
大丈夫か!?

はっ……
え!? なな……

なんですか
いったい……!



なんですかと
は命の恩人に対して
御挨拶だな

……



……そうだ
お父さ

待つんだ!



あなたが……
お父様を……

近づいちゃいけない
あいつはまだ…
死んじやない!



はあ!?
なにを…

ユリー!!



江東の虎!

ドミトリ・エビツチ

獵兵!

我が友!



ここ数日
つけられてるとは
思っていたが…

まさか
手前か



旨い

生き返るぜ





おはよう生者共
せいじのども

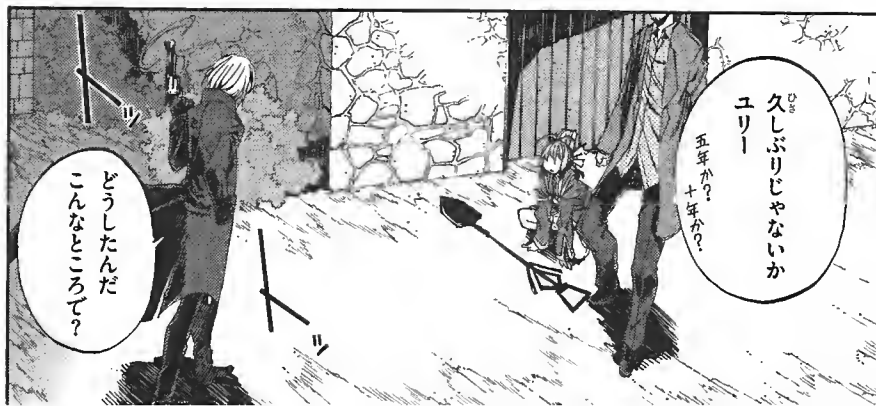


.....

お父様?
とうさま

? あれ...
無事...?

いやしかし



久しぶりじゃないか
ユリー
ひさしぶりじゃないか

五年か?
十年か?

どうしたんだ
こんなところで?

なんよう
何の用……

うご
動くな！

ろくねんめ
……
六年目だ
人食い玩具！

きさま
貴様が妻を
ころ
殺した日からな！

いまのと
じしょ
一緒にするな

え？

ひとび
人聞き悪い事を
いうなよユリー
おれ
俺は殺しちゃ
いない

……………



ごもつとも
お前の認識は
お前のものだ

で？

お前は俺を
どうしたいんだ？



俺にとつては
……そうだ



決闘しろ!!



決闘ねえ……

しかしまあ
とりあえず
自己紹介でも
したらどうだ？



はい、
あれか？

十歩あるいて
振り返って
バーン！ って奴か

そうだ！
正々堂々
勝負しろ！

よかったら
紹介しよう
ユリー

そちらの小さな
お嬢さんはアイ
墓守だ

はか
もり
墓守？

あ
この村の死者の
管理を一手に
引き受けていた
ユニークな個体だ

スカパーって別の
墓守にも確認して
もらったよ…

あ…
ああそうか
墓守か…

納得するの
早いな

こんな年ごろの
人間がいるはず
ないからな

そりや
そうだろう



そうですよ！
最初からそこに
気付けば良かった
です！

お父様の
バレル

ごめんねー
俺ガキの
年齢なんて興味
ないもんでさー

何を言っ
て
いるんだ
お前たちは…？

大体この村は
なんだ？
この子の事も…

ユリー

その疑問は
お前の復讐の
役に立つのか？

誰かを救うか？

いや…
いい

俺は何も
聞かない

そうか
ありがとうよ…



ちがいない



変わってない

その台詞だけは
こつちのものだ



お前は^{まえ}何^{なに}も
変わ^かってないな



コイツは
ユリー

俺^{おれ}の
幼^{せう}なじみにして
親^{おや}友^{とも}だ

銃^{じゆう}の腕^{うで}前^{まえ}は
見^みたとおり



えと…
なんのお話^{はなし}
ですか？

ああ
すまんすまん



ユリーには
嫁^{よめ}さん^と娘^{むすめ}が
いてな

その嫁^{よめ}さん^が
七^{なな}年^{ねん}前^{まへ}に病^{びよう}気^きで
死^しんだ

あれ……
うぐわんめ
六年目って……

え……
さつき……

ななねんまえ
七年前に死んで
うぐわんめ
六年前に
撃たれた

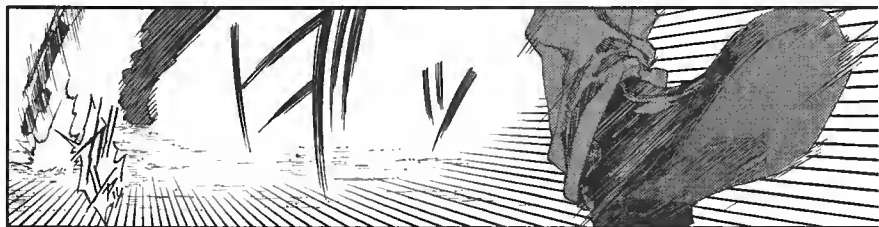
ひびん
矛盾はないよ

いちねんかん
その一年間……

こいつは
死んだ嫁さんを
はからく
墓守から隠して

なな
娘と三人で
暮らしてたんだよ

……
ツ



言っに事欠いて
貴様…

別に言い逃れ
したい訳じゃないが
そこは譲れないな

俺は死者共が
嫌いなんだよ

奴らは好むと
好まざるとに
かわからず

生きてる奴の
足を引張る

人の情を頼り
疾病を運ぶ

どんな賢者も脳味噌
腐って馬鹿になり自分の
欲求しか言わなくなる

現に彼女が
そうだったじゃ
ないか

それでも俺は
良かったんだ！
幸せだったんだ！！

ああ…
だが俺はどうしても
その幸せが
認められなくてな

それについて
だけは謝るよ
すまない








ただいま
くそせいじやども
糞生者共

おいおい……
先にネタバレすんなよ



俺は
ハンブリーハムバート
人食い玩具

見ての通り
とお









それが貴様の
常套手段だ

己の異相と
トリックを利用して
不死の怪物
などと嘯く

俺にはきかんぞ



おいおい
今の見なかったのか？

貴様の銃に
貴様の弾丸だ
細工の余地は
幾らでもある



最初の一発は？
あれはお前が
撃ったんだらう

俺の弾丸でも
細工の余地は
幾らでもある

死んだふりして
敵を誘うのはお前の
昔からの手だ





そうは言っても
血は？ 傷は？
お前がその手に感じた
手応えは？

俺の死体は
どう説明つける
つもりだ？

そんなもの
どこにある



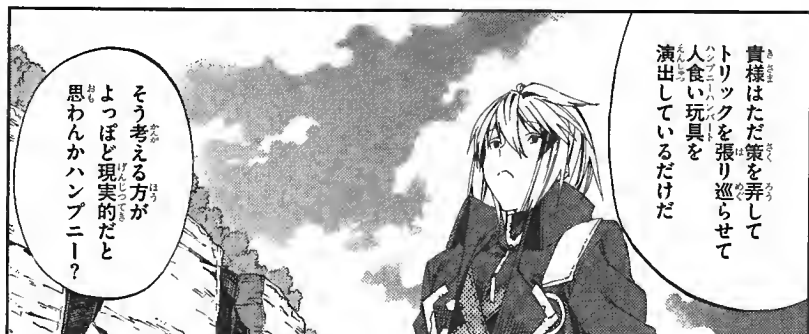
確かにお前は
血まみれになって倒れ
そして今五体満足で
そこにいる

だからといって
不老不死は
言い過ぎじゃ
ないか？



血も！ 傷も！
死体も！

貴様が生き返った
証拠などどこにも
ないではないか！



貴様はただ策を弄して
トリックを張り巡らせて
人食い玩具を
演出しているだけだ

そう考える方が
よっぽど現実的だと
思わんかハンプニー？



なるほど
なるほど

なるほど

つまりお前は俺の事を
ちよつと若作りて
色の白いただの人間だと
言いたいんだな？

そうだ！

証拠が無いから
その後に見た
無惨な姿はスルーする？

……そうだ

不死なんて嘘だから
正面から撃ち合って
堂々と殺すつもりだ？

そうだ！

なるほど……



気でも狂ったか？



な……っ

俺の怪物性が嘘！
まあ一見さんが言う
なら間抜けだが
鋭い着眼点だよ



だがお前は
違うだろ
ユリー？

俺の手口を
知り尽くしている



このトリックだって
原型を作ったのは
お前だ

そのお前がなんて
そんな馬鹿な推測
決闘なんて
言い出すんだ？



それじゃあ
まるで
自殺するようなんも……

……っ



なあユリー

お前
娘はどうした

大体なんて六年目の
今日なんだ？
復讐なら早い方が
良いだろ？

.....



...そうか

あの子が死んだか



!!!

病気か？

...そうだ

つい先月
にな.....



答えろよ



貴様!!

今度はちゃんと
吊ったか?



きちんと
葬儀をしたさ

.....



.....
で



そうか
それなら良い



生きる意味を
うしな
まへん
失ったお前は

俺に殺されに
きました

という手法が

だが不純な動機は
いけないな

復讐復讐復讐ね
甘美な響きだ

俺そーいうの
わりと好きだぜ

人間的だ

何を馬鹿な
俺は復讐を



ええええええ



だまらんと
この子を撃つぞ!!



なんだその様は
ユリー!
それが狂気の
つもりか?

その人!
排斥しないで
下さい!!
薄情者!



ちよつと待つて下さい!
わたし
関係ないですよね!?



心配するなアイ

ユリーは整たんよ



作った狂気で
あんまり
頑張るなユリー

お前の復讐は不純だ
ただの優先順位の
結果でしかない

いやいや
それより
たちが悪い



なじみの誰かに
こういう理屈で
人食い玩具を
殺そうと思うって
聞いてみろよ

「それは自殺するも
同然だ」
と言うさ



お前のは
ただの欺瞞だ

お前はただ単純に
もう生きていたく
ないだけなんだよ

でも自分で死ぬには
あまりに悔しいから
なにかの途中で死にたいのさ

妻の復讐
道半ばにして
死す

つてな具合
にな…



別にそれでも
いいんだけどな
知らない
仲じゃないし

介錯ぐらい
してやるさ

だが残念ながら
俺は意地悪だから

お前の死に
まえ し

意味は
い み

やらん

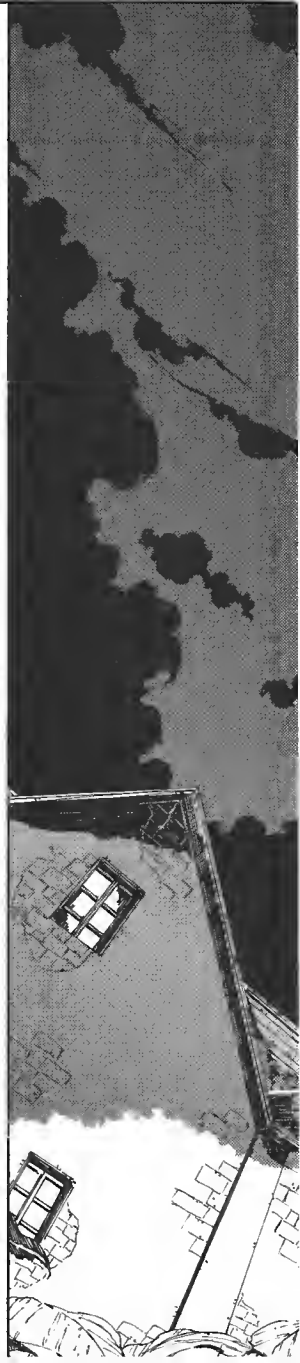
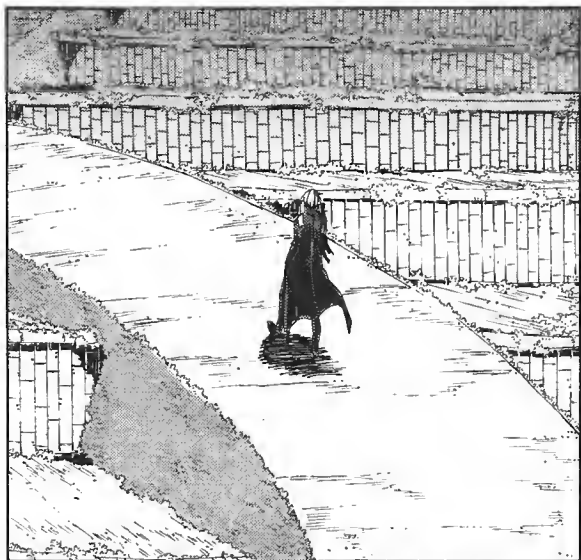
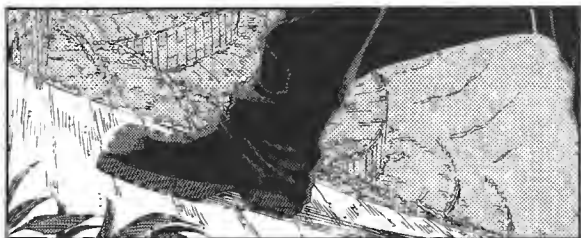
それでもよければ
あんな よ
明日の夜明け

ここに来い

その決闘
けつとう

受けてやる
う







お前か……
なにしてんだ
こんな所で

あつ
お父様



あなたこそ
こんな時間に
何を？

夜明けには
まだ大分
ありますよ



決まってるんだろ
そんなもん
逃げるんだよ

とんずら
とんずら

ユリーと
殺し合いなんて
やってられつか
冗談じゃねえ

そうですか





…優しい？



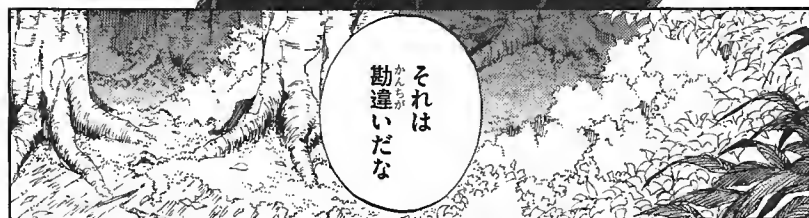
ずいぶん
優しいんだと

そう思いました



なに笑ってんだよ
気味の悪い……

いえ



それは
勘違いだな



言ったろう
俺は
意地悪だってな

それでも



死に場所を
求めている奴から
死を奪う

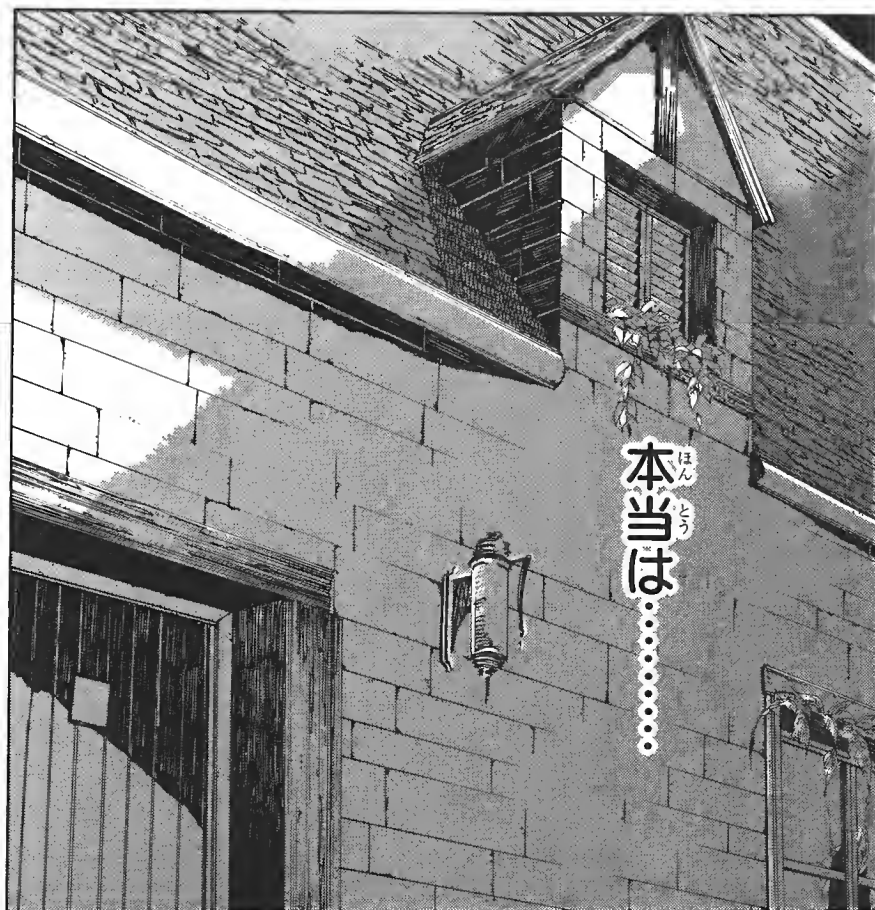
これは決して
優しいことじゃ
ないぞ

あなたのそれは

優^{やさ}し^かいです

知^しるか^ん





ほんとうは……



自分だけの
道具たちも



おばあさんたちが
作ってくれた
服や人形も



それは……
ユッ

できないから

お母様の使った
シヨベルを背負い

義父が語った
お話を胸に抱き

義母の香りを
匂わせて



そこにある空気も全部

持っていきかけたけど



生きていきます





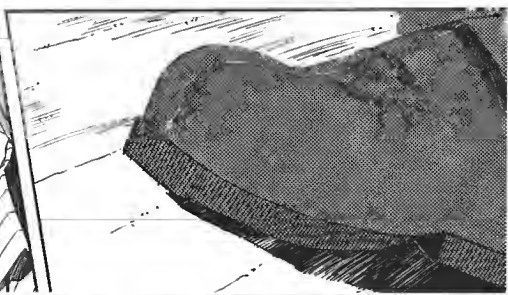
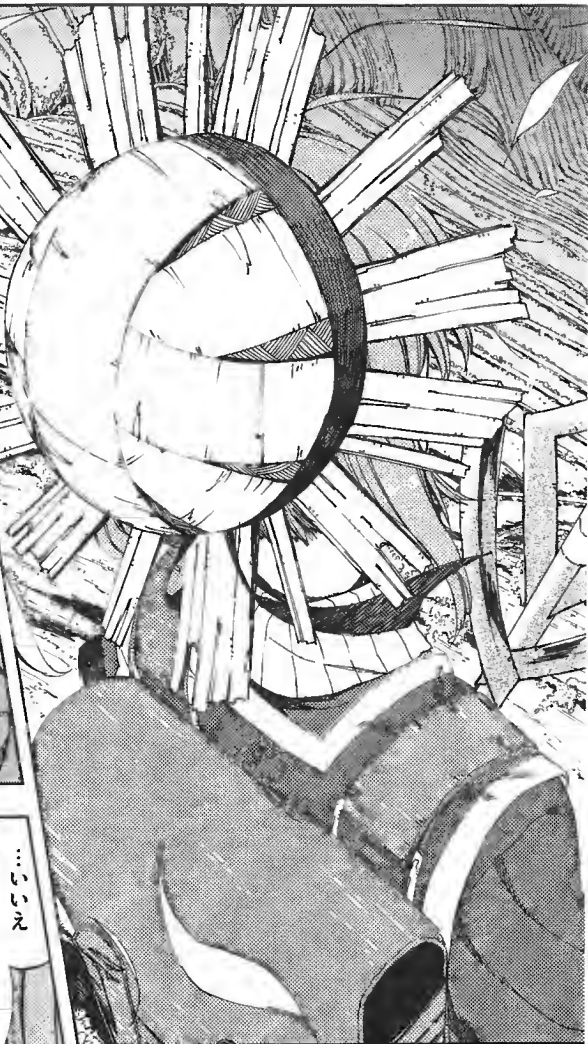
なんだ
ついてくるのか？
墓守をやめる気になっただけ



……いいえ

でも
一緒にいきます

あなたの意にも
死んじやった
みんなの意にも
沿わないかも
しれませんけど











ああ
平気平気



お父様
大丈夫ですか!?

あのお……
全然平気そうに

見えないんですが
……

お父様
平気なん
ですか……

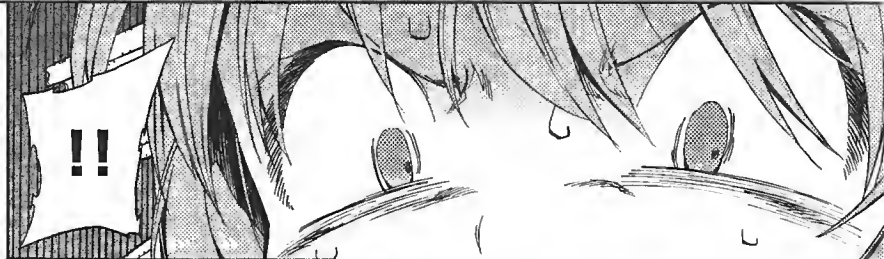


まったく……お父様
びっくりするくらい
鈍くさいですね

昨晚から
何度も……



登りはたいした事
なかったんだが
下りはずいぶん
勝手が違うな



よし!
気分爽快
体力回復!



ううつやめて
くださいよそれく……
すこくやナ
気分です……

わりいわりい
でも便利だろ？

死ねば
からだの傷とか
身体からだの傷きずとか
欠損けつそんとか全部ぜんぶ元通り
なんだからさ

ニートフル
状態じょうたいを
保たもつ

便利べんりだからなんて
理由りゆうで死しなないで
ください！

怒おこんなよ
なんだ
眠ねいのか？

違います！
私は生命倫理せいめいりんりの
話はなをしているのです

墓守はかもりとして
これ以上の
不快ふかいはありません！！

もう……
先日の徹夜せんじつでも
折おりを見て死しんでた
みたいだし……

眠ねいし……



どうやら
道に出られそう
だぜ



どきどきですわっ



アイ



これでようやく
歩きやすく
なるな

踏み場の指示やら
何やら助かったぜ
アイ

おまえ意外と
やるじゃん



あらま



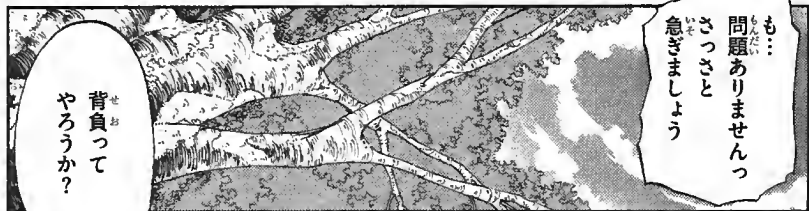
はあ…
どういたしまして



でもこれで
お父様の面倒も
見なくて
いいと思うぞ



なんだ
やっぱり
眠いんじゃないか



も…
問題ありませんっ
さっさと
急ぎましょう

背負って
やろうか？



は？

乗り心地は
悪いかも知れねえけど
少しは眠れるぜ



どうしたのですか
お父様……

まるで
お父様みたい
ですよ？

お前の発言は
いつも
突っ込み所
満載だな……



だ…だって…

おんぶ
ですよ？

もし

恥ずかしいじゃ
ないですか…

恥^はずいだあ？

俺^{おれ}は助けられて
恥^はずかしいなんて
一つも思わなかったぞ

ぞういことじゃ
なくてすね…

知らねえよ

荷物^{にもの}
一緒にしちまえ

まったく…

この人はホントにもう…

ユリ

ほれ

おいアイ

だ…
誰も見^みて
ませんよね!?

こんな山奥^{やまおく}に
人がいるかよ…

っつか
見^みられても
いいだろ



よっと



お……
重くないですか？

重いけど
まあ
どってことねえよ



…お父様とうさまが

お父様とうさまみたいです



えへへ

なんだよ
きみきみの悪い声こゑ
だして……



少しすこ
あまあまな夢ゆめを見みた

それだけだ

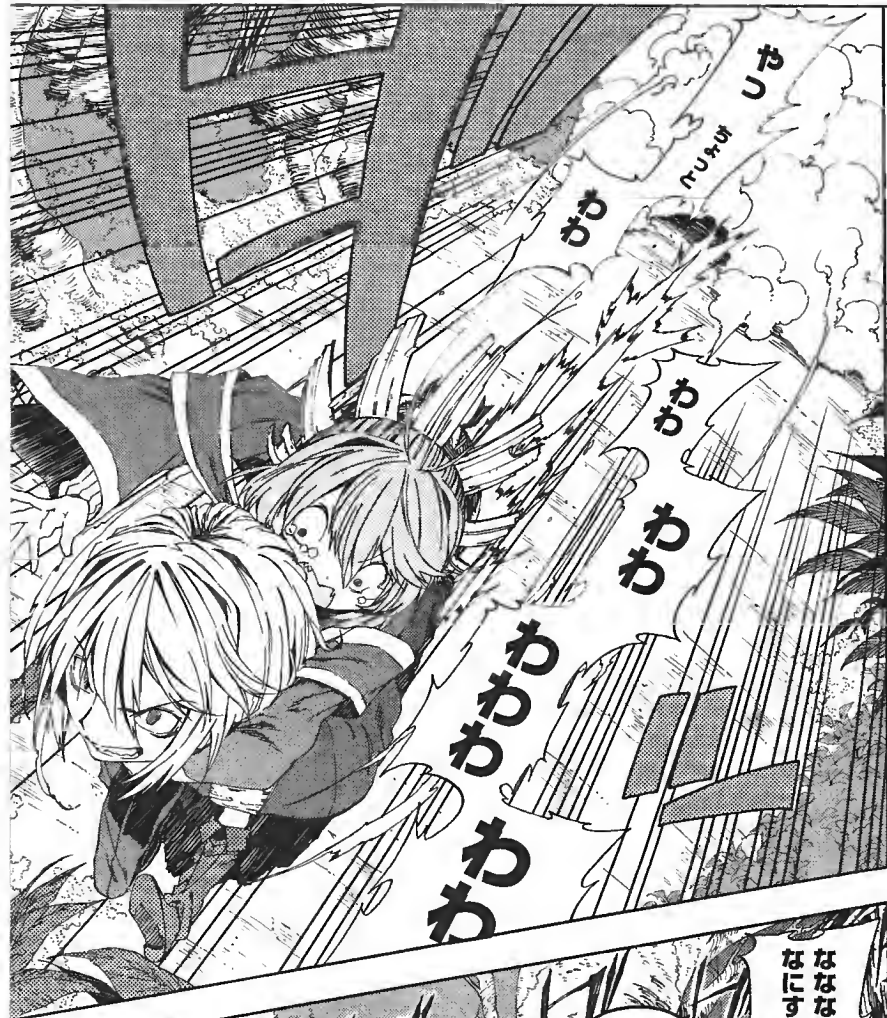


あの…
どうかしましたか?

いや







ななな
なにするんですか！

時間くっちゃまったから
急ぐぞ
乗り心地悪いって
言ったら
まあまあ

あなたは
馬鹿ですか！！



アイ

なんです…



もつとちゃんとした
家族サービスを
要求します！



こんなのおんぶじゃ
ないです！
全然嬉しくないです！



ほーら
へきめんひこう
壁面飛行く

ぎゃああああ!!

近いー近いー



男の子と一緒に
しないでください！



なんなんですか
もう!!

あれ？
おかしいな
俺は餓鬼の頃親父に
これをやられるの
大好きだったんだが



まあいいです…

なんとなく
こんな気は
していました……

そいつは
重畳！
ちゅうじょう

でもこんなペースで
持つんですか？

さつきから
ぜんぜんけ
全然減速してな…

え？
おと……





いやああああ!!!
私の腕の中で
死なないで下さい!!

うるせえなあ
…おそうだ

ね
寝ないなら
定期的に心臓
突いてくれないか?

ぜったいや
絶対嫌です!

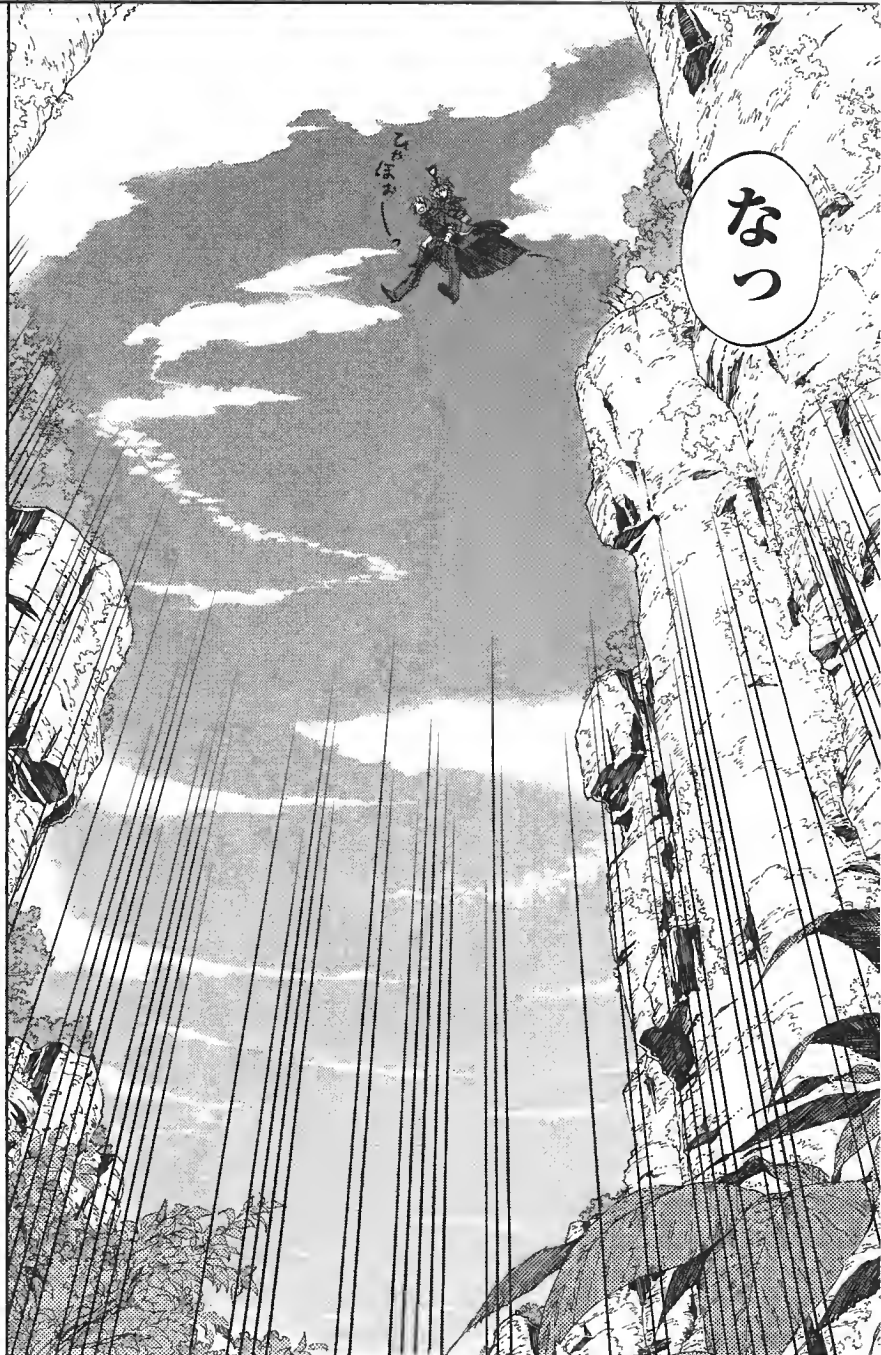
じゃあ
寝ちまえよ

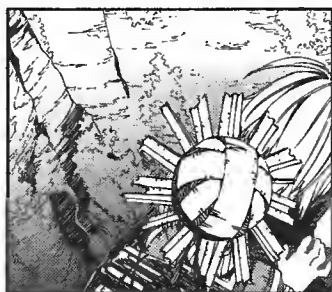
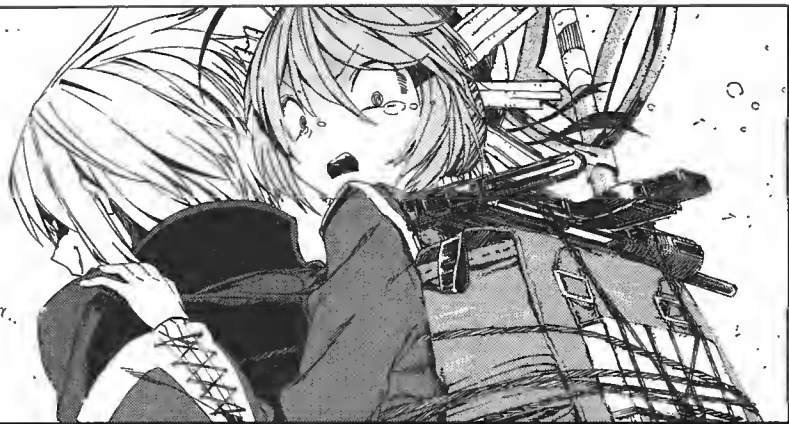
たぶん…

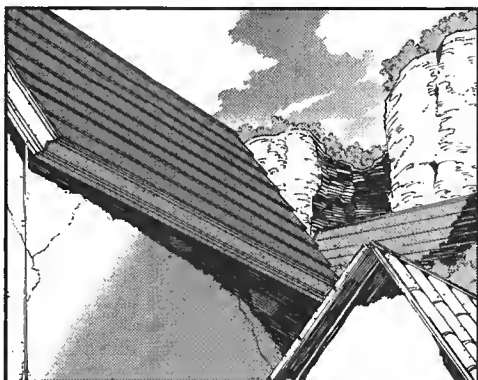
その方が
楽だから

なつ

おほお











そういえば
さつき地図^{ずみ}見せて
もらいましたけど
意外と進んで
ないんです
林^{はやし}から

ああ
少し迷ったからな

……まあ
日も落ちましたし
ユリーさんに
見つかる事は
ないでしょう

そりや
安心だな

なんだ
俺^{おれ}の分^{ぶん}まで
あるのか……



えっと……その……

俺^{おれ}が喰^くっても
無駄^{むだ}になるだけだろ

死ねば喰^くう必要^{ひつよう}も
ないんだしさ

……

ですから
そういうのが
良くないと
思うのです

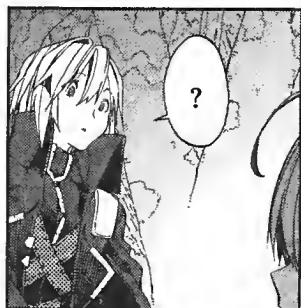
……？


そういう
怪物性^{かいぶつせい}ですか？

を
披露^{ひろう}する事^{こと}です

披露^{ひろう}？


はい
人と一緒^{いっしょ}にいる時は
人に
合わせるべきです
ひとりの時^{とき}は
とまん





わなかったな
飯…貰うよ


はい！



俺だつてさ
おん



もぐ…



いつもめしを
喰わない訳じゃ
ねえんだ

お前の言つた通り
食料に余裕があれば
相手に合わせるさ



自分の怪物性を
披露するなんて
悪趣味……
普段ならやらねえよ

それなのに
お前に対しては
この始末だ……

お前を仲間だと
思っちゃったんだよ



私なら
別にいいやと
思ったのですか？

その通りだ



化物仲間



不快です

ああ分かってる
すまなかったな



わたし
私を化け物扱い
した事でもすけれど

あなたが自分を
化け物だと思
う事

嫌です

!!

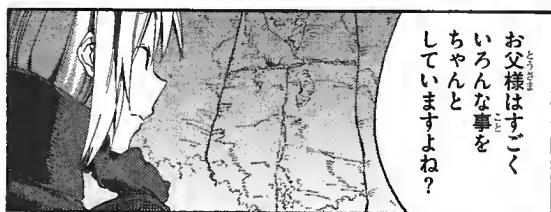
俺はどっから
どう見ても
化け物だろ…

ちがいます

ちがわねえよ

俺は
人喰い玩具

不老不死の化け物だ



お父様は
すごく厳しくて

正しいとか
間違っているとか

駄目とか
駄目じゃないとか

生者と死者とか
人間と化物とか

そういうの
すごくすっぱりと
分けて
真ん中を行ってる
気がします

でもそれって
そんなに分けなきゃ
駄目ですか？

.....

もうちょっと
ゆるやかなのは
駄目ですか？

私には
良い事と悪い事を
分けるのが

そんなに
良い事だとは
思えないんで.....

んく
言葉にするのは
難しいです



……
どういう事ですか？



じゃあ無理して
言葉にすんな



お前が悩んで
いるのは
俺の事だけじゃ
ない

お前の
生き方にまで
かわる事だ



人の振り見て……
ってやつだよ

お前はいま
自分でもんを
作ってるんだ

それが俺を認めず
お前を悩ませている

いま言葉に
出来ない事も
いつかはするりと
口に出るようになる



それまでじっくり
悩んどけ

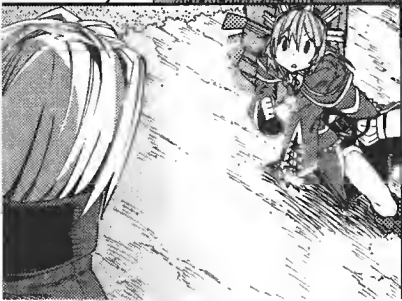
忘れませんよ！
嬉しかったです！

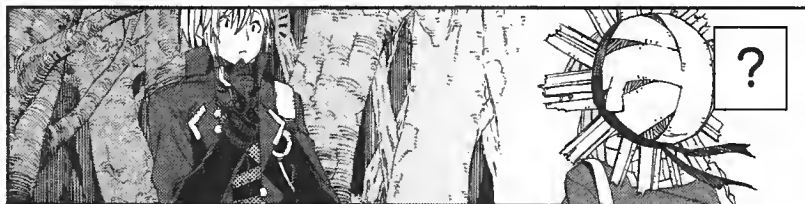


いらない事
言った！
忘れてくれ



すばくすばく
参考になりました！！





でもお父様が
学校なんて……
意外です

んあ？
そうか？

つっても
週に一度は

アルビノの性
ってやつてな……
太陽の光にやたら
弱いんだ

今日だって
死んでなかったら
日焼けて真っ赤に
なってたぜ

これのせいで
休んでたけどな

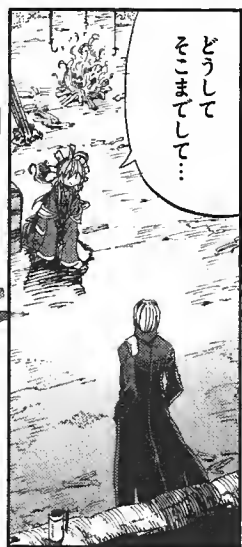
別口で腎も少し
弱くてな

毎日マッサージ
しないと
この端正なお顔は
保てないんだよ



そんなわけで
当時の俺が学校に
通うには多大な努力が
必要だったわけよ

親やユリー達同級生に
助けてもらって
それなんとか
通えていたわけだ



どうして
そこまでして…

なら
俺だってやる

それだけだ



だってみんなが
やってる事だぜ？



不老不死でも
生まれたてなら
ゼロ歳児だ
嘘は言っていない





ああ〜

興味は
あまりないけど……しし



あの

ところでお父様
何の話なんはなしを
してらっしゃる
のですか？



気にするな

念ねんのための
ちよっとした確認かくにん
みたいなものだ



お前まえ……
「あの夜あのよる」のことは
知しってるか？

？



例れいの
「神様かみさまが居いなくなった夜よる」
ってやつだよ



知っているかとは
御挨拶ですね

あの世はもはや
満杯だ

この世もすぐに
行き詰まる

ああ失敗した
でしょ？

そうか……
お前はそう
教えられたか



なにか
違うんですか？

いや
いまでもそう
考えている奴は
多いし

けどな

俺はそんなもん
実際に聞いた
覚えがないんだ

その文盲も
聞いたことがある
むしろ流石といえるな



え？

さいしょ
最初は



ひと
人が生まれることも
しな
死者が死ぬことも
ない
世界になつた

ひ
「その日」が来たことに

だれ
誰も
きづ
気付いていなかったよ



第12章 END



最初は「その日」が
来たことに
誰も気付いて
なかったよ

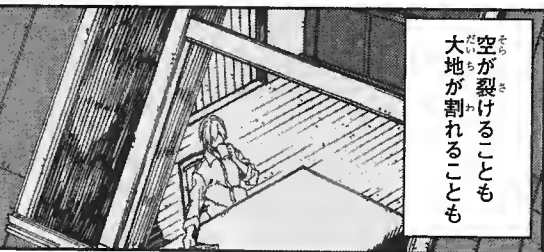


朝は
普通に起きて
登校したし



新聞にも
なんにも書いて
なかった

空が裂けることも
大地が割れることも



もちろん

神の宣告
なんてのも
なかった

そういうのは
全部

あとから人間が
言い出したこと
だよ





これは俺の
持論なんだが
おれ
じろん



神って奴は
おそろく
馬鹿だ
かみ
やつ
ばか



.....



多分だけどあいつ
どうでもよく
なっちまったんだよ
たぶん

きちんとした
物理法則とか
エネルギーの総量
とかさ
ぶつりほうてき
せうりやうりやう

まあ前の世界は
そういうのきちつと
してたが
おもしろみも
なかったからな
せかい

ちよつと
はつちやけちやつたのも
仕方ない話だ
しかた

神をも恐れぬとは
あなたのためにある
言葉ですね……
かみ
おそ
あなた

なんで上から
目線なんですか
めせん





.....

だからさ……
あいつは最後まで

ひとの願いを
かな叶えてやろうと
おも思ったのさ

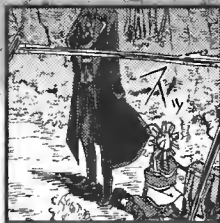


ひと
人がもう生まれな
うな
ったってのはよく
わからんけど

ひと
人が死ななく
な
ったのはさ……



意味
わかんないですよ





死にたくない……
つてのは人類の
願いだろ

やり方は適当
極まるが一応
それは叶えられた

それからしばらくして
やっぱり死にたい
という願いが生まれた

だから墓守が
遣わされた

とんでもない
回り道だが
あいづは多分本気で
人の願いを叶えてる
つもりなんだぜ……



え

言ったら
持論だって

そうとしか思えない
ほんとう
本当にたくさんの
奇跡を



てもなアイ
俺は……

見てきたよ



そうだな
丁度あの時期だ

俺の体は
ずいぶん安定
していて
具合が良かった



あなたも
その一部……ですか



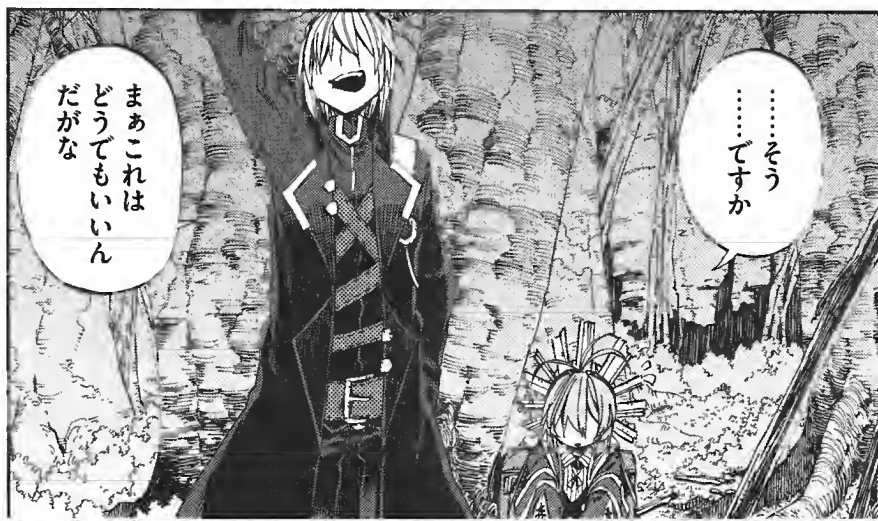
「どうかこの日々が
永遠に続きます
ように」なんて
願ったよ

多分この不死性は
それを叶えた
形なんだろう



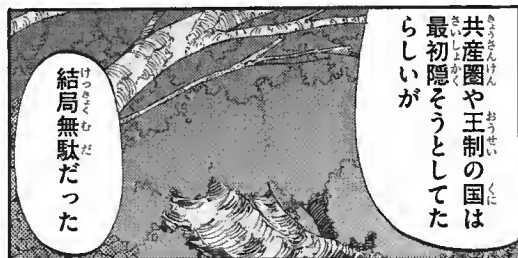
息が自由に吸えて
心臓がきちんと
動いて

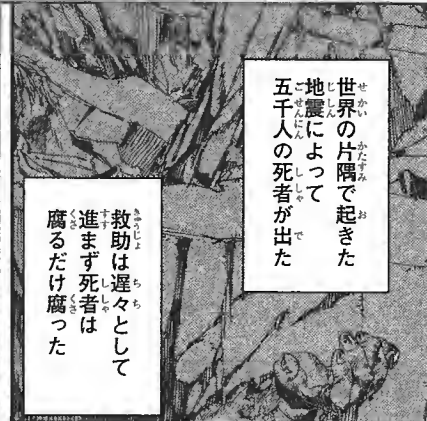
その辺を走り回る
ことも出来た



……そう
……ですか

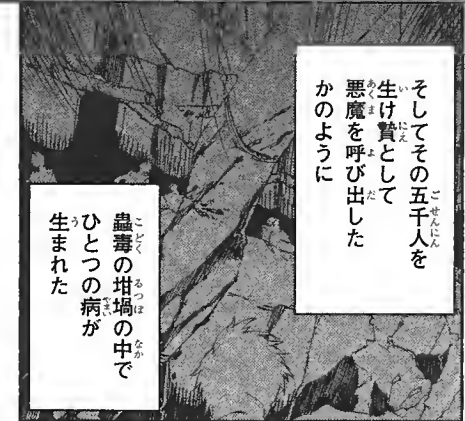
まあこれは
どうでもいいん
だがな






世界の片隅で起きた
地震によって
五千人の死者が出た

救助は遅々として
進まず死者は
腐るだけ腐った



そしてその五千人を
生け贄として
悪魔を呼び出した
かのように

蟲毒の坩堝の中で
ひとつの病が
生まれた



病はのちに
「半死熱」
とよばれるように
なった

「半死死ぬ熱病」
とは
名前に偽りありで

実際には
死者はその半分も
でなかった

もちろんすぐに
対処法が見つかった
流行は
四年と続かなかった

だが半死熱はそれまでに
二億人もの命を奪い
二億人もの死者を生んだ

それは

世界が崩壊するには
十分な数だった

よく知っているな

だが……

アイお前
死者を見たのは
この前が初めてか？

そうか

じゃあ
覚えとけ

「半死熱」もそうだが
人は綺麗に
死んじまえば生前と
ほとんど変わりは無い

だが少しずつ
腐っていく

もちろん
ココもだ

理性を司る前頭葉が
機能低下して
意識は一番頑丈な
小脳の影響を強く
受けるようになる

するとどうなるか
分かるか？

我が儘になるんだよ


死んでるくせに
生存本能ばかり
強くなつて
ひどい事になる

いちど
まっつたら
後は落ちるだけだ


そんなものが
側にいてみる……

情で縛られた
生きてる奴は
悲劇だよ


………！



だから
ユリーさんの
奥^{おく}さんを……




撃^うったのですか



お父^{おとう}様……？

……いや……

うん
まあその通りだ^{とお}




そんなわけて俺^{おれ}は
死者^{しや}共^{ども}を
許^{ゆる}せないんだよ

は……
はあ……




あれ……？






どうしてあんな事ことをしたんですか



正義せいぎのためだ



闘争とうそうの理由りゆうなんて
太古たいこの昔から
決まっている

……正義……

そうだ
俺は俺の根底に
わだかまる
どす黒い正義のために

彼らを撃った

……ああ

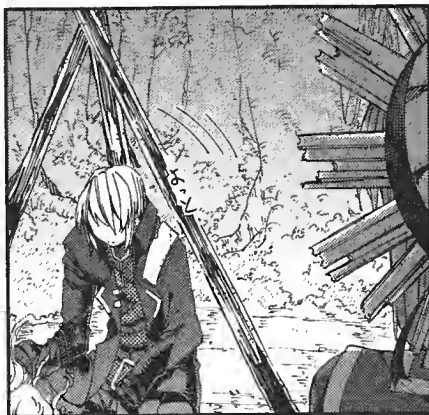
みんなは……
あなたに
撃ち殺されねば
ならないほど

……悪
てしたか？

みんなはどんな……

悪を為して
いたのですか？

……みんなは





それに
あの連中も……



そしたらお前
泣くだろう？

俺はそんな
うざったいもんを
見たくねえんだ



俺にだけは

言ってはしく
ないんじや
ねえかね……




俺が
ぶっ散らかしちゃった
村の連中だよ

お前に秘密が
ばれるにしても
俺からつてのは
酷な話だ……



え？




きつとみんな



そう……ですね

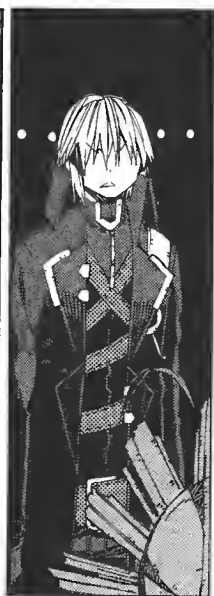
わたし
私に自分で
きつ
気付けてほしいと
おも
思っています



そうか……
じゃあがんばりな

はい！







俺はそのハナッて
女に
惚れているんだ



……つたく

仕方ねえな……



ほ……惚れ？

ああ



……つて
ん？
どした？



ずいぶん前に
出会って
それっきりだが

俺たちは
おれ
同じ夢を見た



う？

……う



聞けよ
この馬鹿！

永咄ッ

いたい

つたく……
ぎやあぎやあ
うるせえ！

おいアイ！
お前二度と俺の事
親父と呼ぶな！
いい加減うぜえッ

ええ~~~~~
お父様は
お父様なのに……

ええ~~~~~
じやねえよ

なあアイ
それってお前の
処世術なのか？

処世術……？

ああ
そんな言葉で
俺を縛ろうたって
無駄だぞ

俺は
何時如何なるときも
状況しだい
お前を撃つ男だ

変な癖になる前に
止めろ



そんなんじゃないですよ……



私だってほんとには
ちよつと
嫌ですよ



あなたが
お父様だなんて
本当に
悪夢的です……



なんだって
こんな人が……
なんて
考えますよ



でも
しょうがないじゃ
ないですか

そんなの

ただの
事実なんですから



だからその
理由をよ……

そんなの見れば
分かるじゃない
ですか！

あなたはお父様です！
そんなの
見れば分かります！

あなたは
違うのですか？
娘を見て何も
感じませんか？

家族なんですよ！

無理だな

俺には分からん

悪いが少し
寝る

色んな事が少し

分からなくなった……



十五年前の
区別なく
俺は子供を
作れない……

赤眼・白皮
白髪・不死

これらの要素は
俺から後に続く
力を奪った……

だからアイの
言ってる事は
根本的に
間違っている

なのに……

見れば分かる
とは
言ってくれる……

だが
ひよっとする……

あいつの
言ってる事が
全部正しくて

……まったく
どうしようもない
奴だな
人食い玩具よ

あいつの言うとおり
しておけば
叶わぬ「夢」も
叶うかもしれないに

だがそれを
認めてしまつては
それはもはや……

俺ではないから……



第13章 END

to be continued
Kamisamano Inai Nichiyoubi Ⅱ



DRAGON COMICS AGE

ドラゴンコミックスエイジ

神さまのいない日曜日 2

原作
いりえ せみひと
入江君人

作画
あびら へい ぎ
肋兵器

キャラクター原案
しの
茨乃

2012年4月9日初版発行

発行者/**山下直久**

発行/**富士見書房**

<http://www.fujimishobo.co.jp>

〒102-8144 東京都千代田区富士見 1-12-14 (03) 3238-8591 (編集)

発売/**角川グループパブリッシング**

〒102-8177 東京都千代田区富士見 2-13-3 (03) 3238-8521 (営業)

カバー・本文デザイン/**伸童舎**

印刷/**大日本印刷**

製本/**BBC**

初出/月刊ドラゴンエイジ(富士見書房刊) 2011年5月号、7月号～12月号

本書の無断複製(コピー、スキャン、デジタル化等)並びに無断複製物の譲渡及び配信は、著作権法上での例外を除き禁じられています。また、本書を代行業者等の第三者に依頼して複製する行為は、たとえ個人や家庭内での利用であっても一切認められておりません。

落丁・乱丁本は、ご面倒でも角川グループ受注センター読者係までお送りください。送料は小社負担でお取り替えいたします。

この作品はフィクションです。実在の人物・団体とは関係ありません。

2012 Fujimishobo, Printed In Japan

©2012 ABARAHEIKI

©2012 KIMIHITO IRIE・SHINO

ISBN978-4-04-712779-1 C0979

